

トリコラシルLS9267

抗糖化・抗炎症効果より抜け毛を防止

【特長】 毛髪を休止期へ移行させるIL-1 α を抑制
コラーゲンの糖化抑制で、コラーゲンの劣化防止、
抗炎症、抗酸化のトリプルアクションによる頭皮正常化

【コンセプト】

トリコラシルLS9267 は、インドの樹(Pterocarpus marsupium)から抽出したエキスに、多くの生体反応の基質として働くグルタミン酸、および細胞代謝を促進するコハク酸ナトリウムを合わせたもので、抗糖化および抗老化が実証されているため、新しい抜け毛防止へのアプローチを提案します。



●植物データ *Pterocarpus marsupium*
樹木の高さは 15 メートルで、マメ科、植生地はインド、中国、スリランカ
●民間薬としての利用法(樹皮、木部)
抗糖尿効果(アーユルヴェーダでは軽度のII型糖尿病に用いられる。)
抗炎症、収斂、皮膚病に効果あり。



【効果・効能】

頭皮への悪影響を抑える機能;

a) I型コラーゲンの糖化

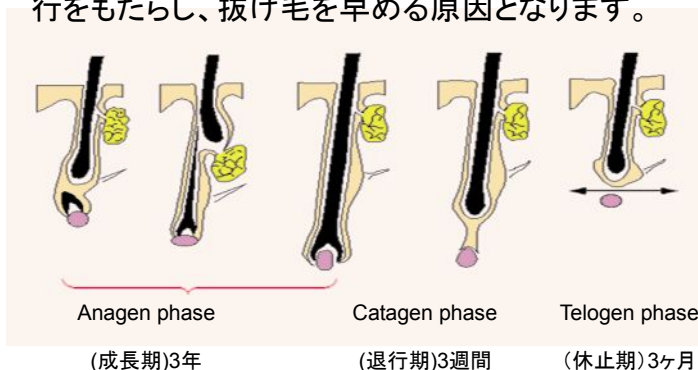
毛包の細胞外マトリックスタンパクの糖化により、その周囲の真皮が硬化し、毛包に対する新しい毛のアンカリングが難しくなる原因となります。

b) フリーラジカル産生

頭皮内でのフリーラジカル産生により、細胞機能の低下、細胞損傷、代謝へのダメージの原因となります。

c) 前炎症性サイトカイン

前炎症性サイトカイン(IL-1 α :TNF)は、毛髪の成長期を短縮させ休止期への早期移行をもたらし、抜け毛を早める原因となります。

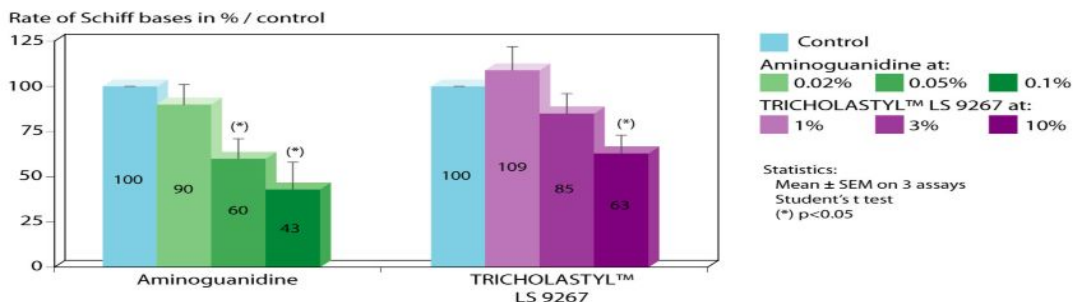


成長期の毛球部



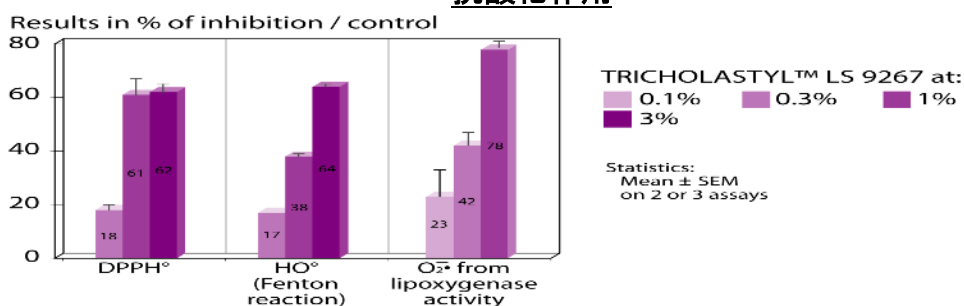
休止期の毛球部

コラーゲンタンパクの糖化抑制

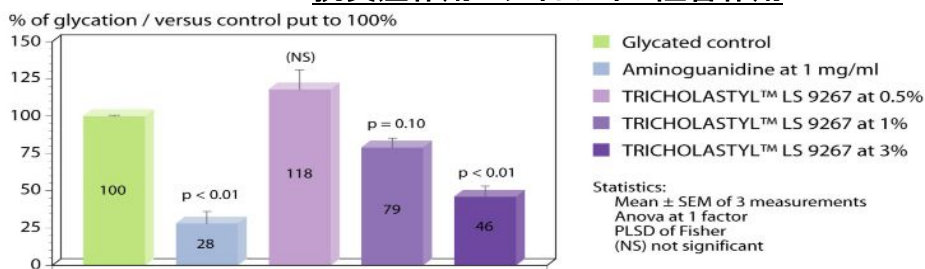


トリコラシルLS9267 は、線維芽細胞培養系でも優れた**抗糖化作用**を示した。

抗酸化作用



抗炎症作用 サイトカイン阻害作用



トリコラシル LS 9267 は有意な**抗炎症作用**を有した。

特に、脱毛症に関与するといわれる **IL-1 α** の放出を阻害した。トリコラシルは抜け毛防止に頭皮レベルで深く作用し

毛包の保護&機能増強 ヘアサイクルの正常化

毛髪の頭皮への結着強化

に最適な原料といえます。

【商品情報】

商品名:トリコラシル LS9267

表示名称:水,マンニトール,プテロカルプスマルスピウム樹皮エキス,コハク酸2Na,グルタミン酸

製造元:LABORATOIRES SEROBIOLOGIQUES(仏)